

開会挨拶 (26中計のご説明)

代表取締役社長
COO

上村 和久

2026中計

グループ基本方針

～人を大切にし、社会へ貢献する～

～サステナビリティ活動のさらなる推進～

社会へ貢献する

ちゃんと買って
ちゃんと造って
ちゃんと売る

人を大切にする

NHKニッパツ



ニッパツウェイ
NHK SPRING WAY



2026中計グループ基本方針

「サステナビリティ活動のさらなる推進」
「人を大切にし、社会へ貢献する」

人を大切にする

- ステークホルダーとの信頼関係の一層の強化
- 安全・安心な会社、働きがいのある働きやすい職場づくり
- 多様な人材の成長支援と活躍推進

社会へ貢献する

- なくてはならないキーパーツの提供
- 地球環境問題への取組の加速
- 地域社会への貢献

ちゃんと買って ちゃんと造って ちゃんと売る

- 『品質第一』のものづくり力の強化
- DX推進による競争力強化
- 取引適正化推進とCSR調達強化

2026中計 経営目標（売上損益）

(億円)

	24.3期 (23年度) 実績	27.3期 (26年度) 計画	増減	率
売上高	7,669	8,500	830	10.8%
営業利益	346	520	173	50.1%
営業利益率	4.5%	6.1%	1.6%	
経常利益	478	570	91	19.2%
経常利益率	6.2%	6.7%	0.5%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	391	430	38	9.7%

- ◆ 自動車関連市場では電動車向け部品用基板やモーターコアの売上増加を計画。
- ◆ 情報通信関連市場ではHDD関連部品や半導体プロセス部品の需要回復を見込む。
- ◆ 自動化推進や生産性改善を進め、利益率向上を図る。

2026中計 新経営管理指標と財務指標目標

2023中計

		23中計 (目標)	▶	24.3期 (実績)
売上高・損益	売上高	6,500億円	▶	7,669億円
	営業利益 (営業利益率)	400億円 (6.2%)	▶	346億円 (4.5%)
	経常利益 (経常利益率 ¹)	420億円 (6.5%)	▶	478億円 (6.2%)
	当期純利益 (当期純利益率)	250億円 (3.8%)	▶	391億円 (5.1%)
財務指標	投資効率 ROE	8.0%	▶	10.4%
	株主還元 配当性向	30%程度	▶	24.2%

(注) 1.売上高・損益目標の内、特に経常利益率は財務指標目標にも設定

注目する3つの事業分野の成長率を
新たな目標に掲げた

2026中計

 : 新たに追加した経営管理指標

		24.3期 (実績)	26中計 (目標)	
売上高・損益	売上高	7,669億円	8,500億円	
	営業利益 (営業利益率)	346億円 (4.5%)	520億円 (6.1%)	
	経常利益 (経常利益率)	478億円 (6.2%)	570億円 (6.7%)	
	当期純利益 (当期純利益率)	391億円 (5.1%)	430億円 (5.1%)	
財務指標	投資効率 ROE	10.4%	10%以上	
	ROIC	6.1%	7%以上	
	株主還元 配当性向	24.2%	30%以上	
	売上高 年平均 成長率 (CAGR) <small>※24.3期- 31.3期</small>	モーターコア	-	14%
		半導体プロセス 部品	-	18%
		金属基板	-	24%
	健全性 自己資本比率 ²	58.7%	50%以上	
政策保 有株式 純資産比率	20.8%	20%未満		

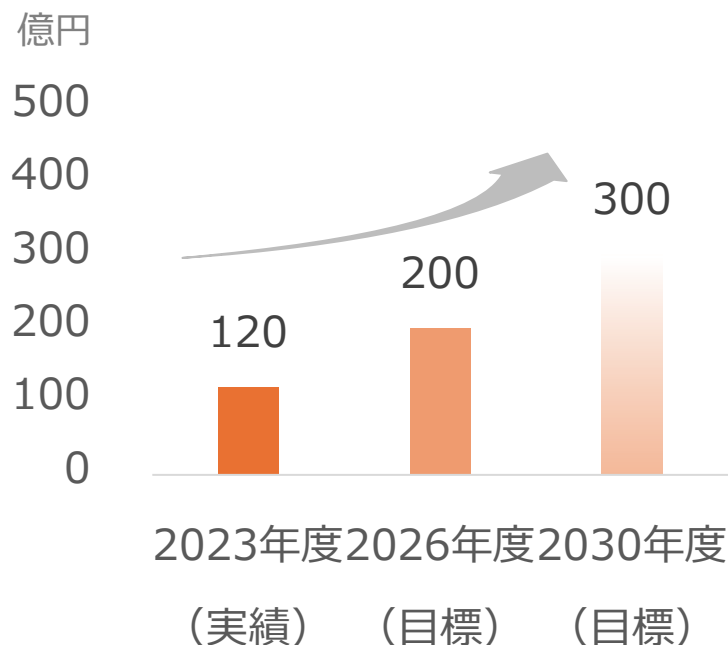
(注) 2.自己資本比率は健全性を示す指標として採用、資本政策の観点から目指す水準は継続検討

注目の成長事業の動向 2030年への飛躍

売上高年平均成長率(CAGR) 期間：24.3期～31.3期

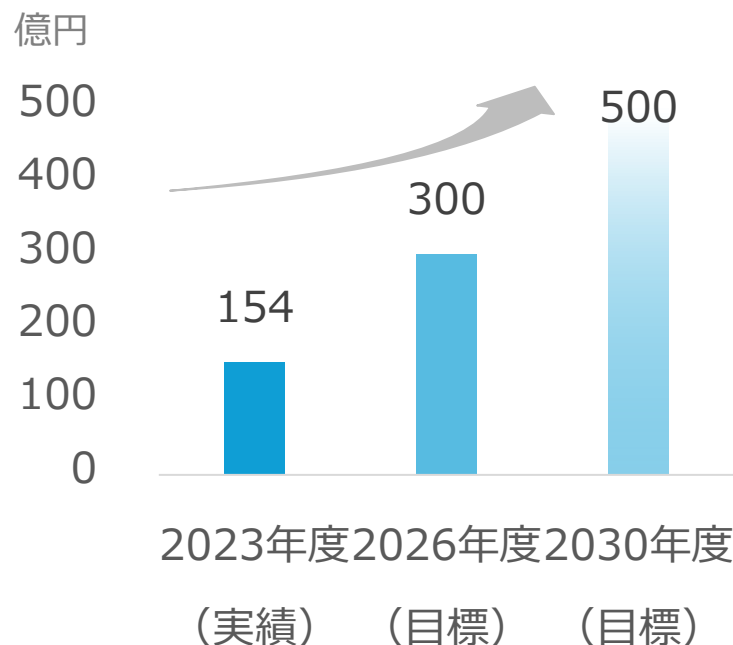
モーターコア

14%



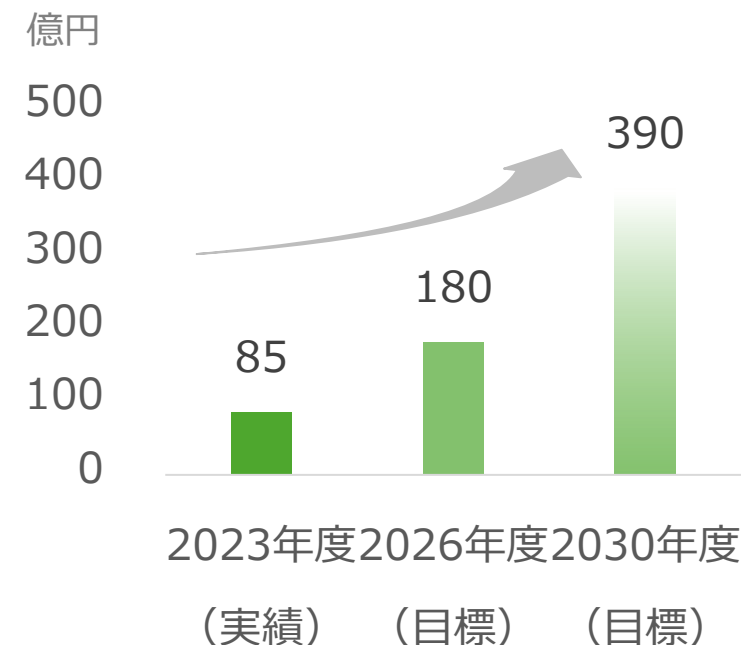
半導体プロセス部品

18%



金属基板


24%



「人を大切にし社会に貢献する」、 「ちゃんと買ってちゃんと造ってちゃんと売る」企業 としての成長投資

成長投資 2,500億円	人的資本投資 500億円	■ 処遇改善、職場環境改善による従業員エンゲージメントの向上
	DX投資 200億円	■ 基幹システム、AI技術への投資による業務改革推進
	カーボンニュートラル投資 100億円	■ 生産設備の電化、再生可能エネルギー購入によるCN活動の推進
	研究開発投資 700億円	■ 新商品開発、上市への活動加速、既存製品の価値向上施策の推進
	事業投資 1,000億円	■ 継続的な技術革新による「品質第一」のものづくり力の強化

テーマ	施策
働きがいのある職場	<ul style="list-style-type: none">・多面的思考を持つ人材確保に向けた採用手法導入・年功要素の廃止と処遇の見直し・脱属人化を目的とした教育体系の刷新
働きやすい職場	<ul style="list-style-type: none">・システム活用による業務効率化と可処分時間増加・従業員のパフォーマンス最大化に向けた労働条件の整備
安全安心な会社	<ul style="list-style-type: none">・重筋作業の軽減と健康相談窓口の強化・社員の士気を守るためのハラスメントの撲滅

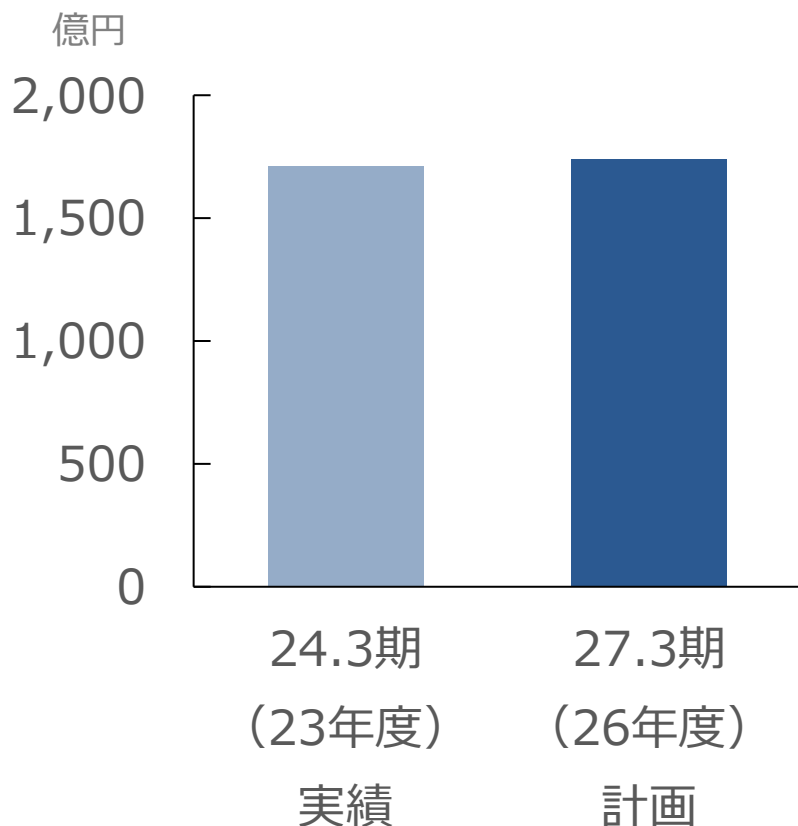
テーマ	中計目標(2026年度目標)
CO2排出量の削減	<ul style="list-style-type: none">・CO2排出量 103千ton-CO2 ※1 (2013年度比33%減) 省エネ、電化/電動化、技術革新、再エネ導入、再エネ購入  生産増加等による成行きCO2排出量178千ton-CO2に対して、75千ton-CO2の削減を行う計画
産業廃棄物量の削減	<ul style="list-style-type: none">・産業廃棄物量 33ton ※2 (2013年度比73%減)

※1 対象：当社と国内グループ会社、SCOPE 1 +SCOPE 2

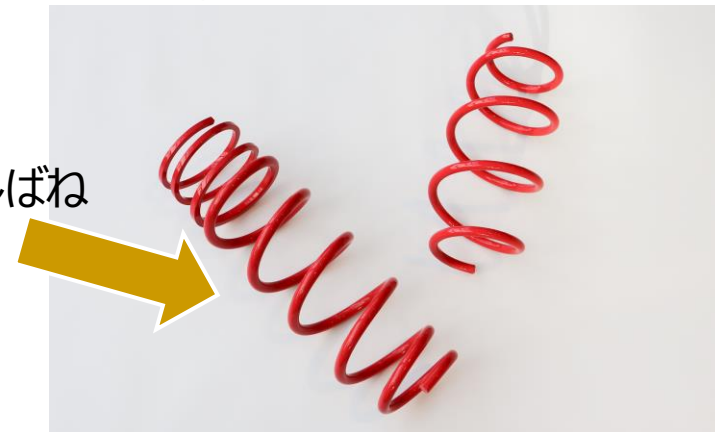
※2 対象：当社と国内グループ会社、非資源化物

各事業の課題と取り組み（懸架ばね）

◆ グローバル全拠点での安定生産・供給体制の確立



エクストリームテーパークoilばね

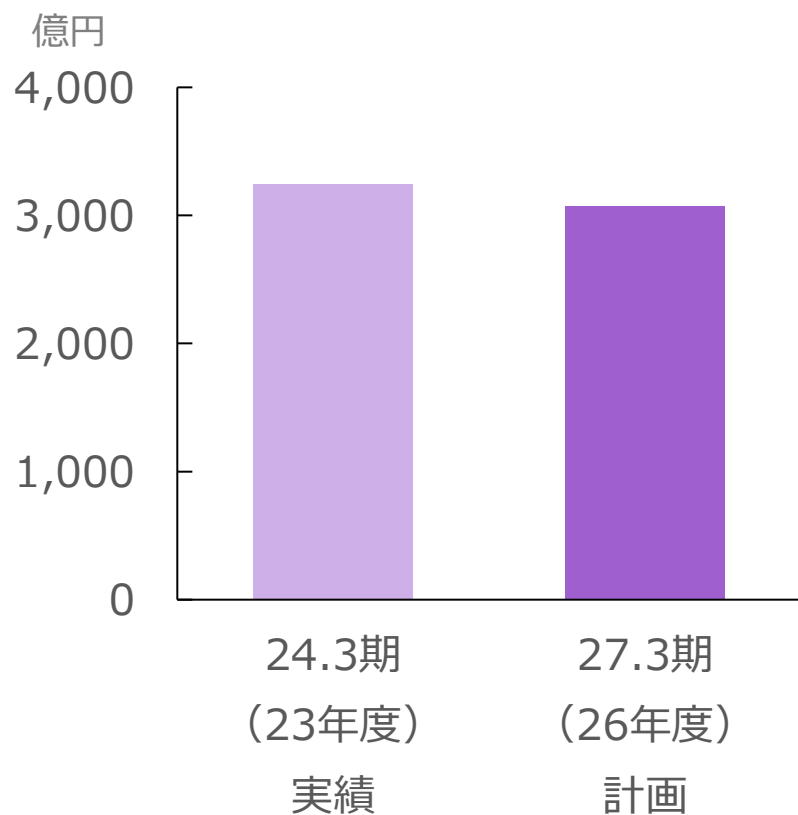


26中計での課題と取組

- ◆ 北米2拠点の収益改善に向けた再構築への取組み
～売価改善、生産性改善、最適受注戦略の推進
- ◆ 競争力向上のための新技術・製品開発と市場投入
～「ばね」付加価値向上
- ◆ モノづくり改革の促進による生産性改善
- ◆ グローバルでの生産技術支援体制の強化

各事業の課題と取り組み（シート）

- ◆ お客様ニーズに合った製品の開発による既存ビジネスでの着実な収益確保、
後継機種受注に向けた競争力強化



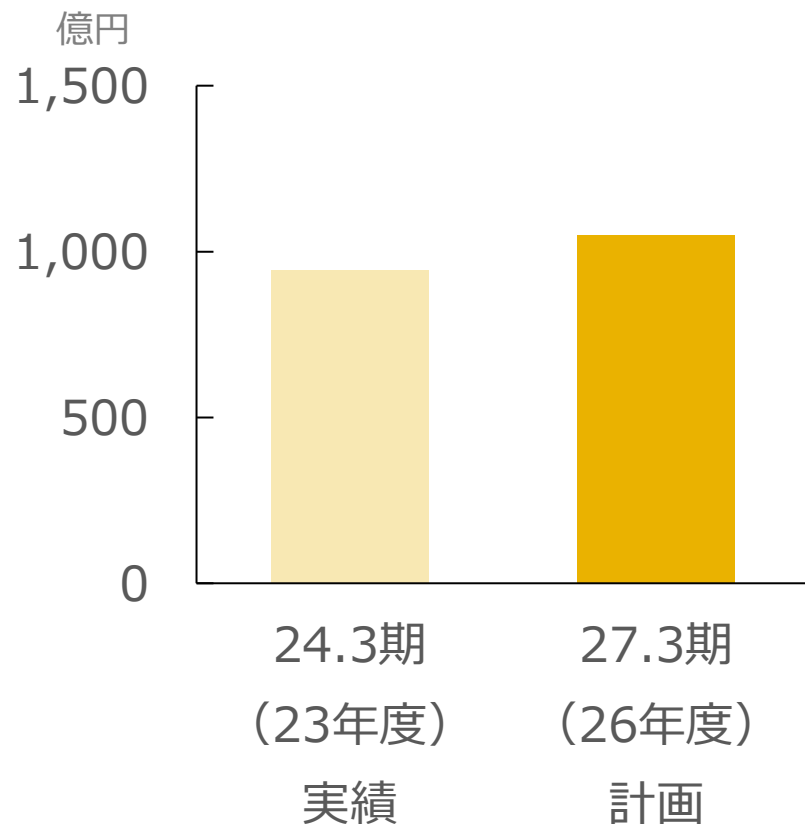
26中計での課題と取組

- ◆ 電動化、自動運転、環境課題への対応を
主軸としたシート開発
～快適性・基盤技術の構築による差別化の促進
～付加価値デバイスの開発による拡販
～コア技術特許の確保
- ◆ ロボット活用や自動化による重労働作業撲滅



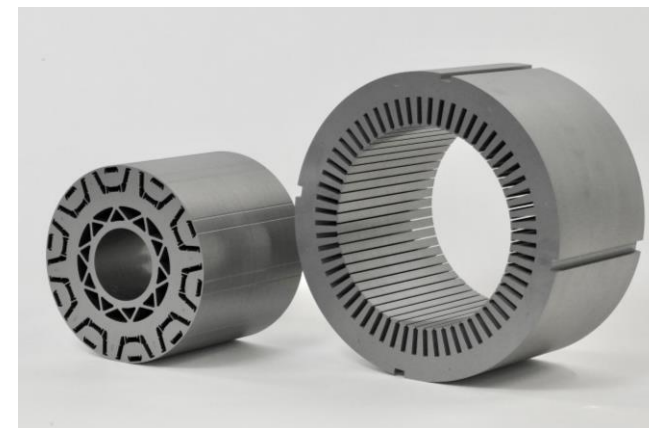
各事業の課題と取り組み（精密部品）

◆ 電動化加速を見据えたモーターコア事業拡大と新規開発品の拡販



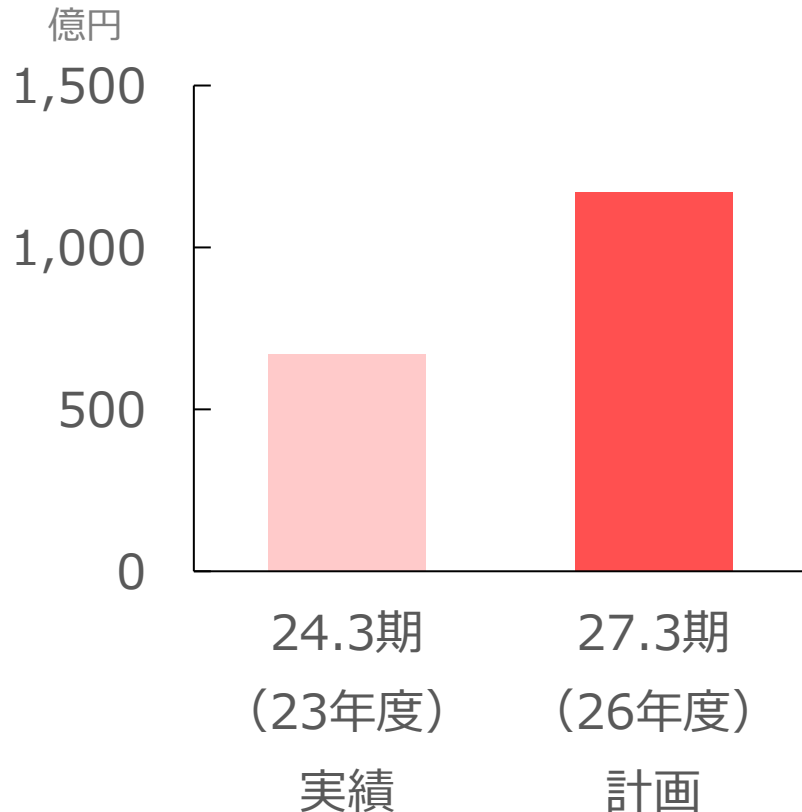
26中計での課題と取組

- ◆ モーターコア事業拡大
～グローバルでの生産体制、試作開発環境の拡充
電動化部品への取組み
～制御装置や接続部品等の新規開発品の拡販
- ◆ 既存事業の収益力強化



各事業の課題と取り組み (DDS)

- ◆ 市場回復が見込まれるHDDサスペンションとマイクロコンタクタを中心に、売上成長を堅持



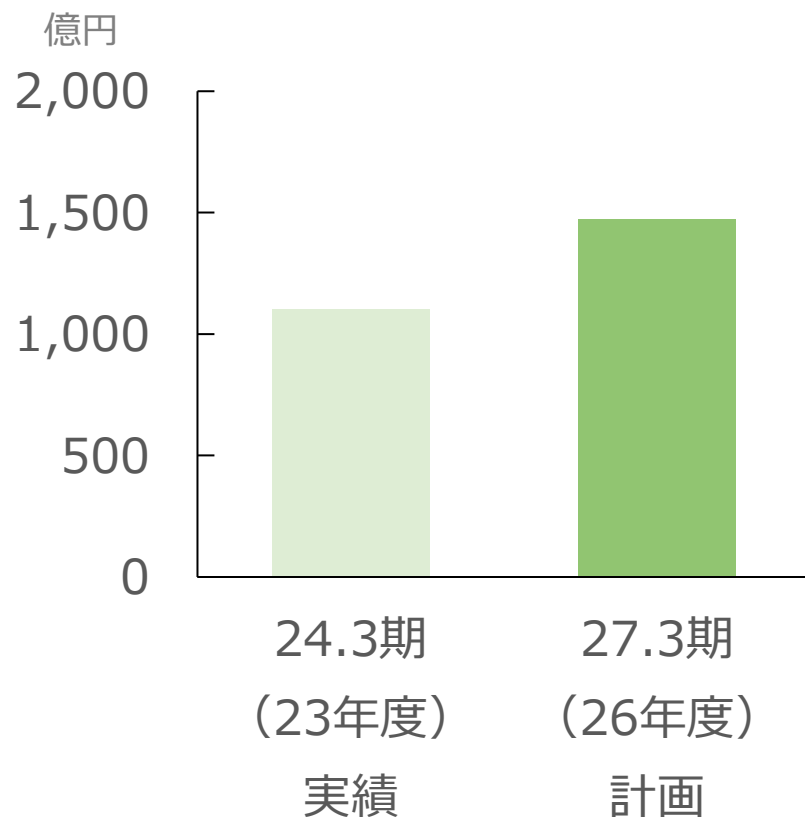
26中計での課題と取組

- ◆ スマートファクトリー化の推進
～マテハンAGV展開による工数最小化
～DX推進による品質安定化、AOI展開
- ◆ 拡販による市場認知度のアップと事業基盤の確立
- ◆ DDSコア技術を活かした新製品の探索



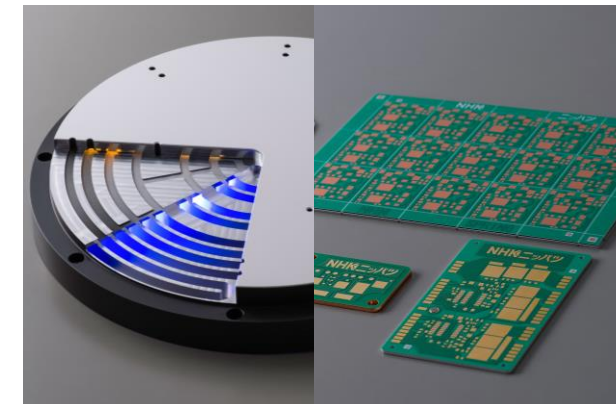
各事業の課題と取り組み（産業機器ほか）

- ◆ 半導体プロセス部品と金属基板への注力と、他事業の再編



26中計での課題と取組

- ◆ 半導体プロセス部品の事業規模拡大に伴う体制強化
～宮田工場の拡張による生産能力引上げ
- ◆ 金属基板の量産体制構築
～駒ヶ根工場での量産体制の構築
～マレーシア新生産棟での生産準備



2026中計

グループ基本方針

～人を大切にし、社会へ貢献する～

～サステナビリティ活動のさらなる推進～

社会へ貢献する

ちゃんと買って

ちゃんと造って

ちゃんと売る

人を大切にする

NHKニッパツ



ニッパツウェイ
NHK SPRING WAY

